



Sèkmès (セクメース) は「幸運の」という意味

Labas！ ラバス！ 国際交流員のアスタです。

日本の春はいろいろな変化の匂いがします。3月にある卒業式、咲き始める花、5時過ぎまで沈まない太陽などは目で見えるほど明らかな変化ですが、そうでもない人の中の変化は去年の3月に非常に目立ちました。いきなり春に入ってから皆さんの様子がおかしくなって、皆さんが何かを待っているような落ち着かない雰囲気を出していました。それは4月になってから急に消えて、皆さんはシャワーを浴びたようなスッキリした姿になりました。何なんだろうと当時すごい気になっていましたが、振り返ってみると3月は日本の「新しい始まり」の前にある「準備」の時間に感じました。

勿論、春といえリトアニアにも新しい始まりを感じられますが、新生活が始まるというより、自然だけ変化します。しかし、3月はまだまだ冬っぽくて、春が来るサインを待つ月です。待っていることはリトアニアの人しか知らない三つのサインです！

一つ目は2～3週間しか咲かない紫色（雪割草）と白色（スノードロップ）の森の花です。この花は森に行かないと見かけないものなので、先に見かけた人はクジラを見れたように、「あった！」と親しい人に知らせます。

二つ目は色が無い日常を明るい緑に染める若葉です。その2種類の花が咲いてから次に徐々に若葉が地面と木から出始めます。その過程は3月下旬まで続いて、寒い年はもっと時間がかかります。緑が戻ってきたら、次は目を空に向けてもいいです。

三つ目は人に愛されているシュバシコウ（コウノトリに似ている鳥）です。冬をアフリカで過ごしている鳥がリトアニアに帰ってくると本当の春が始まります！

ずっと緑のままの八丈島なら、いろいろな花が咲き始めると季節が変わっていくと感じやすいかと思います。でしたら、3月の「準備」が終わって、「新しい始まり」を表す花といえばフリージアなのではないかと思います。フリージアまつりで咲き誇るフリージアを楽しみにしています！

またね。IKI！

■問い合わせ■ 企画財政課企画情報係 電話 2-1120

町ホームページで
Astaの日記を更新
しています。
ぜひ見てください！



国際交流員のページ